

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市産業文化複合施設（あきる野ルピア）
	所在地	東京都あきる野市秋川一丁目8番地
	所管課	生涯学習推進課
指定管理者	名称	株式会社コンベンションリンケージ
	所在地	東京都あきる野市秋川一丁目8番地
	業務内容	1 あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用承認等に関すること。 2 あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用に係る利用料金の徴収に関すること。 3 あきる野ルピア施設及び附属設備等の維持管理及び安全に関すること。 4 あきる野ルピア施設及び附属設備等の簡易修繕に関すること。 5 生涯学習事業等の実施に関すること。 6 その他施設及び事業の管理運営に関して、教育委員会が必要と認めること。
	ホームページURL	http://akiruno-rupia.jp/
	指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館等日数（日）	357	358	296	323	357
利用者（来客者）数（人）	59,443	56,795	17,923	22,749	37,900
前年度比（人）	△561	△2,648	△38,872	4,826	15,151
前年度比（%）	99.1	95.5	31.6	126.9	166.6
利用料金（売上）合計（千円）	14,670	13,472	6,444	8,295	12,394
前年度比（千円）	△33	△1,198	△7,028	1,851	4,099
前年度比（%）	99.8	91.8	47.8	128.7	149.4

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 入	指定管理料	9,455	9,675	9,879	9,861	9,843
	使用料収入（売上）	16,575	13,472	6,444	8,295	12,394
	自主事業収入	—	17	0	0	20
	その他の収入	—	1,370	3,422	8,083	1,887
	計	26,029	24,533	19,745	26,239	24,144
支 出	人件費	13,384	11,392	12,435	12,653	13,131
	運営費 維持管理経費	12,307	10,095	9,480	11,756	13,588
	自主事業 関係経費	73	77	0	8	20
	その他の支出	—	—	—	—	—
	計	25,763	21,564	21,915	24,416	26,739
収支（収入－支出）		266	2,969	△2,170	1,823	△2,595

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
<ul style="list-style-type: none"> 以下の自主事業開催時に、来館されたお客様を対象に実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> ①第9回ルピア塾フェスタ（令和4年10月15日） ②東京文化会館ミュージック・ワークショップ in あきる野（令和4年11月3日） ③第7回アンサンブルコンサート（令和5年1月15日）
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
<ol style="list-style-type: none"> ①第9回ルピア塾フェスタ よりわかりやすい会場案内表示を求めるとのご意見があり、次回より掲示手法の改善をはかります。 ②東京文化会館ミュージック・ワークショップ in あきる野 歌や楽器演奏をもっと増やして欲しいのご要望があり、東京文化会館担当者と協議のうえ次回の反映を目指します。 ③第7回アンサンブルコンサート 来場者の満足度は高く、ご意見や苦情に関する記載は特にありませんでした。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援（ルピア塾）を継続して実施しました。受付の窓口前に設置してあるルピア塾の案内ボードを有効活用し、年度を通じてルピア塾の普及活動に努めました。また、ルピア塾受講者数の拡大に向け、新規講座の開設に向けた活動を積極的に行いました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
<ul style="list-style-type: none"> 過度な空調使用や不要な照明設備点灯等がないかを点検し、スタッフ一人一人が常に経費削減への意識を持って日々業務を遂行しました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館がなく、全日計画通り営業できました。施設利用者数と利用料金売上ともに前年を大きく上回りましたが、年間の計画値までは及ばず、経費増も負担となり、総収支は赤字となりました。今後は、コロナ前の売上実績超過への早期達成と、収支バランスの改善を目指します。 今後も、市民が身近に安心して快適にご利用いただける施設運営を目標に、隣接する同じ指定管理施設である「秋川キララホール」との連携を密にして、事業の更なる発展に向けて努力します。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
<p>自主事業の実施回数は計画値に達していませんでしたが、来場者等の満足度が高かったことが伺えますので、市民サービスの向上が図られていると評価できます。</p>
経費削減の取組
<p>電気やガスの使用量削減に努めていますが、社会情勢等の不可抗力により光熱費の急騰が起因して経費が増加していますので、今後の動向に留意してください。</p>
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
<p>利用者数が新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に戻ってきていると伺えますので、引き続き、サービスの向上を図り、利用者が快適に利用できる環境づくりに取り組んでください。</p>

総合評価	A
------	----------

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。